

日中のぽかぽかとしたお日さまがより温かく感じられる程、朝晩の冷え込みに晩秋の気配が深まる頃となりました。色とりどりの落ち葉や木の実、秋の自然は子どもたちにとって宝の山。身近な自然に触れる楽しさを感じられる時間を増やしていけたらと思っています。衣服を調整しながら、これから一段と寒くなる季節に負けず元気いっぱい戸外遊びを楽しんでいきたいと思っています。

制作あそび

先月は折り紙を使ってどんぐりを作ったり、のりやクレヨンでキノコを作ったりしました。実際にどんぐりを見たり触ったりしてみるとイメージが膨らんで「こうかな？」と自分でも考えながら形を作っていく姿がありました。

キノコ作りでは円を描くことを意識して行ってみました。保育者の手本を見よう見まねで自分なりに表現することを楽しんでいます。制作の準備をしていると「何からはじまるの？」とわくわくした様子で自然と集まってくる子どもたちです。指先の運動発達にも繋がる制作遊び。遊びの中でいろいろな経験ができれば嬉しいです。

友だちといっしょに♪

近頃、園庭では子どもたち5～6人と保育者で簡単なルールのある遊びを楽しんでいます。子どもたちのお気に入りには“むっくりクマさん”です。友だちと息を合わせて身体を動かす、タイミングを見て繋いでいた手を離す、クマ役(鬼)が友だちを追いかける…一見単純なようで、遊びの中からもいろいろなことを学びとっています。子どもたちにとってはとても大切な経験のように思います。クラスも少しずつまとまりができて、成長も嬉しく、微笑ましく思います。これから見られる友だちとのやりとりも楽しみですね。

親子であそぼう会について

4月当初から、体操や踊りを遊びの一つとして取り入れています。身体を動かすことが大好きな子どもたちは跳ねる、回る、止まる、片足で立つなどさまざまな表現ができるようになりました。また、さまざまな音楽に触れ歌ったり、音楽に合わせて身体を動かしたりすることの楽しさ、嬉しさを日々感じています。最近ではトイレトペーパーの芯で作ったマイクと小さな舞台を用意し、そこに童謡のCDを流すだけでお部屋がコンサート会場に早変わり。お客さんに見てもらおう喜びも感じています。11月9日(土)に、“親子であそぼう会”を開催し、そんな普段の子どもたちの姿をぜひ見てもらえたらと思っています。また親子でのふれあい遊びの時間も楽しんでいただけると嬉しいです。

自分でやってみよう！

9月の下旬頃からひとりで着替えを行ってみたり、脱いだ服をたたんでみたりと“自分でやってみる経験”を増やしています。

「せんせい、こう？」と保育者に確認しながら丁寧に行う子、自ら進んで自信満々に行う子と姿はそれぞれですが、なによりも子どもたちが自分でやろうとする意欲を大切に見守っています。大人から見たときに完璧でなくても、「ひとりでできたね」「上手にできたね」と前向きな声かけは、認めてもらった満足感や更なる意欲に繋がっていくと思います。まだまだ甘えたい日、頑なに自分でやり抜きたい日、その時によってさまざまな時期ですが、一人一人の様子に合わせて、丁寧に関わっていけたらと思います。